



駒馳山の形成と人々の歴史

駒馳山東コース

岩美町の大谷海岸の西側は、駒馳山から供給された岩石でできた礫浜です。いろいろな種類の石ころが見られ、岩石の観察に適した場所です。駒馳山の東側山麓では、駒馳山バイパスの工事の際に小畠古墳群が発見されました。古墳の石室にも大谷海岸で観察した駒馳山の岩石が使われていることがわかります。駒馳山の周辺で人々が活動していたことがわかるコースです。

江戸時代の石畳道を歩こう！

駒馳山峠は、雨が降ると地面がぬかるんで滑りやすく、馬も越えることが難しい難所でした。文化8年（1811）に備前国の六部多十郎がこの地方にやってきたとき、この難所に出会い、人々が苦しんでいることを知りました。そして、石畳道をつくることを決心し、多くの人の協力を得て、およそ1年で石畳道が完成しました。現在もこの石畳道の一部が残っています。



基本コース

	スタート	*時間は徒歩
①浦富海岸島めぐり遊覧船乗り場		
25分 ↓	約1.4km	
②大谷海岸		
22分 ↓	約1km	
③石畳道		
17分 ↓	約850m	
④小畠3号墳 ⑤穴観音		
1分 ↓	約50m	
⑥小畠1号墳		
35分 ↓	約1.7km	
①浦富海岸島めぐり遊覧船乗り場		
総移動時間約1時間40分		
全行程約5km		



展望休憩所からの景観



美しい自然を守るために、石や植物は観察するだけにしましょう。
危険な場所や立ち入り禁止の場所には入らないようにしてください。
持って帰るのは楽しい思い出と写真、そして地元のおみやげ!!

